

平成26年度 年度計画にかかる事業報告書 小項目評価一覧(案)

大項目評価
 S 「計画を大幅に上回り、特に評価すべき進捗状況にある(評価委員会が特に認める場合)」
 A 「順調に進んでいる(すべての項目が3~5)」
 B 「おおむね順調に進んでいる(3~5の割合が9割以上)」
 C 「やや遅れている(3~5の割合が9割未満)」
 D 「大幅に遅れている又は重大な改善すべき事項がある」

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

項目	頁	ウエイト (1 or 2)	1	2	3	4	5	自己評価のポイント	評価委員会の判断理由・意見
			年度計画を大幅に下回っている	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を順調に実施	年度計画を上回って実施	年度計画を大幅に上回って実施		
1 市民病院としての役割の発揮									
(1) 救急医療	5	2				◎		(中央) ・「断らない救急」の継続 ・産科ホットライン(6月~)・小児科ホットライン(10月~)の運用開始 ・ECMO(体外式膜型人工肺による治療)初症例(西) ・24時間365日救急医療体制の継続 ・人員体制を強化し、円滑な救急患者の受け入れを継続	主に下記のポイントから、年度計画を上回って実施したと判断した。 (中央) ・産科、小児科ホットラインを開設したこと。 ・ECMOプロジェクト参加し、他職種によるECMOチームを結成して、急性呼吸不全症例の救命ができたこと。 (西) ・毎日24時間救急医療を着実に継続実施したこと。 ・「断らない救急」を標榜する以上、断った理由の把握と、本当に内部で都合がつかなかったのかなど対外的に説明できるよう分析が重要である。 ・ホットラインの導入によって、どのような効果があったのか。
(2) 小児・周産期医療	7	2				◎		(両病院) ・安定した周産期医療提供の継続 (中央) ・総合周産期母子医療センターの運営継続 ・事例検討やカンファレンスの継続実施 (西) ・分娩件数が過去最高 ・小児科診療体制の充実	
(3) 災害医療及び感染症医療 その他の緊急時における医療	10	2				◎		(両病院) ・エボラ出血熱等新興感染症に対する研修やマニュアルの策定 ・緊急時に備えた災害訓練回数等の大幅な増加 (中央) ・移転後初の全部署参加の防災避難訓練を実施 (西) ・「神戸市災害対応病院」に指定(1月)	

※ ◎はウエイトを考慮し2点、○は1点の項目
 ※ ウエイト2は「市民病院としての公的役割を果たす上で重要」と位置づける項目及び「平成26年度計画」における重点項目である
 ※ 「自己評価のポイント」で、下線があるポイントは評価委員会事務局も注目すべきではないかと考えているものである

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

項目	頁	ウエイト (1 or 2)	1	2	3	4	5	自己評価のポイント	評価委員会の判断理由・意見
			年度計画を大幅に下回っている	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を順調に実施	年度計画を上回って実施	年度計画を大幅に上回って実施		
2 高度医療及び専門医療の充実並びに医療水準向上への貢献									
(1) 高度医療及び専門医療の充実並びに医療需要に応じた医療の提供	14	2						◎	<p>主に下記のポイントから、年度計画を上回って実施したと判断した。</p> <p>(中央)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ダヴィンチ」「TAVI」の本格運用を開始し、手術の安全性向上と患者の負担軽減を実現したこと。 <p>(西)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環器内科の医師を増員し、診療体制を拡充したこと。 ・CTを増設し、検査体制を強化したこと。 <p>・高額医療機器の導入により、どのような効果があったのか。</p> <p>・中央市民病院として、高度医療をどこまでやらなければならないか。地域医療構想の中でも位置づけられることになるが、中央市民病院は超急性期病院として、どの程度までの水準を目指さないといけないのか、将来を見据える必要がある。</p>
(2) 5疾病(がん, 脳卒中, 急性心筋梗塞, 糖尿病及び精神疾患)への対応	18	1						○	<p>(中央)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん拠点病院運営委員会に再編し、がん診療体制を強化 ・がん相談体制の強化による相談件数の増加 <p>(西)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携バス(糖尿病・認知症等)の活用の継続
(3) チーム医療の実践及び専門性の発揮	24	2						◎	<p>(中央)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急棟等における早期リハビリテーションの充実 <p>(西)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院長ヒアリングを実施し、各チームの目標や課題についての情報共有 ・リハビリテーション技術部の新設及び土曜日リハビリテーションの試行開始 ・チーム医療発表会の継続開催 <p>・リハビリは非常によく取り組んでいる。</p>
(4) 臨床研究及び治験の推進	28	1						○	<p>(中央)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治験・臨床研究推進体制の構築に向けた業務の開始 ・医療統計学の専門性を有する薬剤師の配置 <p>(西)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治験の際のスムーズな運用の継続 <p>・医師の活性化のためにも、治験はあった方がいい。</p>

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

項目	頁	ウエイト (1 or 2)	1	2	3	4	5	自己評価のポイント	評価委員会の判断理由・意見
			年度計画を大幅に下回っている	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を順調に実施	年度計画を上回って実施	年度計画を大幅に上回って実施		
3 安全で質の高い医療を提供する体制の維持									
(1) 医療の質を管理することの徹底 (クリニカルパス及び臨床評価指標の充実等)	31	1			○			(中央) ・アウトカム・バリエーション分析チームの活動 ・26年度診療報酬改定に関するコスト評価の実施 (西) ・電子カルテシステムの導入 (1月～入院, 3月～外来) ・主要診療科のDPC分析及び改善提案	
(2) 医療安全対策及び医療関連感染(院内感染)対策の強化	37	2			◎			(両病院) ・職員研修会の回数・参加人数の大幅な増加 ・院内ラウンドの実施の継続 ・院内ラウンドによる手指衛生回数の増加 (中央) ・感染管理専従看護師の増員によるサーベイランスの強化 (西) ・麻しん患者受診に伴い感染拡大防止へ向けた診療体制の構築	・今後、医療安全が重要になってくるので、高い評価を目指して欲しい。 ・医療安全研修に参加したことによる効果を把握するため、アンケートを実施するなどの検証作業をすると、参加者の意識や姿勢が変わると思う。 ・十分な医療安全の取り組みにつながるように、医療安全推進体制に不十分な点はないか、随時、見直しを図って欲しい。 ・医療安全において、中央市民病院ぐらいの規模で、医師を交えて取組みを行っていることは評価できる。
(3) 法令及び行動規範の遵守 (コンプライアンス)の徹底	45	2			◎			・中央市民病院薬剤部門システム開発にかかる収賄事件を受け、コンプライアンス推進本部を設置 ・全所属長に対して、コンプライアンス推進室長による倫理規程遵守の研修、外部講師によるコンプライアンス研修の実施 ・職場内研修の継続、管理者向け研修の実施 ・監事監査、会計監査人監査、内部監査 ・情報セキュリティ監査の実施	・法令遵守については、当然のことであり、ガバナンスの問題である。 ・倫理が厳しく言われているので、コンプライアンスの中でも、倫理の監視をしていく必要がある。

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

項目	頁	ウエイト (1 or 2)	1	2	3	4	5	自己評価のポイント	評価委員会の判断理由・意見
			年度計画を大幅に下回っている	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を順調に実施	年度計画を上回って実施	年度計画を大幅に上回って実施		
4 市民及び患者とともに築くやさしい病院									
(1) 患者のニーズに応じたサービスの提供	46	2			◎			(両病院) ・患者満足度調査や意見箱等による患者ニーズの把握、待ち時間調査等の実施 ・院内コンサートの継続 ・医療通訳制度の継続 ・ボランティアとの連携による患者サービスの向上(中央) ・外来部門・手術待合でのBGMを開始 ・病院創立90周年記念事業の開催(西) ・6階庭園の緑化リニューアル ・ボランティアの処遇改善	・患者サービスの向上に、よく取り組んでいる。 ・患者満足度調査における満足度が非常に高いのは、病気が治ったことによるものではないか。 ・患者のニーズはその時々で変化している。例えば、地域医療連携の観点で、納得・安心して転院しているのか等、本質的な患者満足度が把握できるような項目を設けてはどうか。
(2) 市民及び患者へ開かれた病院(市民への情報発信)	53	1			○			(両病院) ・患者向け教室等の継続開催、患者向け広報誌の発行(中央) ・ <u>がん市民フォーラムの開催及びがんサロンの試行実施</u> ・がん相談室開放日を設け相談支援(西) ・がん看護相談室の継続実施	・がん相談は、患者が相談しやすいようなスペースが重要である。

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

項目	頁	ウエイト (1 or 2)	1	2	3	4	5	自己評価のポイント	評価委員会の判断理由・意見
			年度計画を大幅に下回っている	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を順調に実施	年度計画を上回って実施	年度計画を大幅に上回って実施		
5 地域医療連携の推進									
(1) 地域医療機関との更なる連携	55	2			◎			(両病院) ・医療機関向けアンケートの実施 ・オープンカンファレンスの継続開催 ・医療機関への訪問や交流会における連携 (中央) ・後方支援病院との連携会議の継続開催 ・中央区地域医療連携部門連絡協議会世話人及び協議会への参加 (西) ・連携医向けの冊子の作成・配布 ・FAX予約をより円滑に推進するための体制づくり	
(2) 在宅医療への支援及び在宅医療との連携の強化	61	1			○			(両病院) ・退院前カンファレンス等、地域の居宅介護支援事業所等との連携 (中央) ・在宅看護交流セミナーの開催 (西) ・在宅医療支援交流会の開催	・今後、認知症への対応が必要になってくるので、医師だけでなく、看護師の連携も重要となってくる。 ・今後の診療報酬改定では、介護へのインセンティブが強まることが予想される。その中で、特に、西市民病院は在宅医療における地域医療連携のロールモデルになることが求められている。
合計		23			19	4			
[6項目 ウエイト2(4項目)ウエイト1(2項目)]		23			23				

評価 A(順調)

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置口

項目	頁	ウエイト (1 or 2)	1	2	3	4	5	自己評価のポイント	評価委員会の判断理由・意見
			年度計画を大幅に下回っている	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を順実に実施	年度計画を上回って実施	年度計画を大幅に上回って実施		
1 優れた専門職の確保と人材育成									
(1) 優れた専門職の確保	63	2			◎			(両病院) ・経験者採用の継続 ・機構固有職員の再雇用制度の構築 ・市看護大学との連携強化 ・看護職員の借上寮の入寮期間の延長 (中央) ・薬剤師・リハビリにおけるレジデント制度の活用 (西) ・薬剤師レジデント制度の導入を開始	・育児世代に対して、良好な育児環境を提供することなどによって、より市民病院機構で働きたいと思ってもらえるような仕組み作りを意識した方がよいのではないか。 ・職員寮については、医療機器等と同様に、費用対効果分析が必要ではないか。
(2) 職員の能力向上等への取り組み	67	2			◎			(両病院) ・事務・技術職員への資格取得支援制度の継続 ・看護職員留学制度の拡充・継続 ・MSW研修会の開始、医事課職員研修会の継続 ・自己啓発等休業制度の新設	
(3) 人材育成等における地域貢献	70	1			○			(両病院) ・看護職員の復職支援研修の開催 (中央) ・がん薬物療法専門薬剤師の研修施設として他病院から受入れ (西) ・ベトナム・ダナン産婦人科・小児科病院の人材育成の継続(最終年度)	主に下記のポイントから、年度計画を上回って実施したと判断した。 (両病院) ・積極的に学生実習等の受入れをしたこと。 (西) ・3か年に渡り、ベトナム・ダナン産婦人科・小児科病院の人材育成のための草の根技術協力事業へ参画したこと。 ・人材の育成によく取り組んでいる。 ・ダナンの研修サポートは成果を指標で示すのは難しく、国際貢献を行ったということが重要である。また、西市民病院から派遣した看護師にも得るものがあったはずである。 ・潜在看護師の復職支援について、2025年問題でも、看護師不足は深刻な課題の一つである。市民病院機構という公的な医療機関として、その牽引役として前向きな役割を果たして欲しい。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置口

項目	頁	ウエイト (1 or 2)	1	2	3	4	5	自己評価のポイント	評価委員会の判断理由・意見
			年度計画を大幅に下回っている	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を順実に実施	年度計画を上回って実施	年度計画を大幅に上回って実施		
2 働きやすくやりがいの持てる環境づくり									
(1) 努力が評価され報われる人事給与制度等の導入	72	1			○			<ul style="list-style-type: none"> ・医師の人事給与制度の再構築に向けた検討の実施 ・法人採用職員の係長昇任選考の継続実施 	
(2) 働きやすい環境の整備	73	1			○			(両病院) <ul style="list-style-type: none"> ・職員満足度調査を初めて実施 ・優秀職員表彰、業務発表会の継続実施 ・医療クラークの活用の継続 ・増築(中央:南棟・北棟、西:東館)に向けた院内での検討の開始 (中央) <ul style="list-style-type: none"> ・病児保育についての検討を継続 ・ナースサポーター業務の見直しによる業務の効率化 ・院内暴力防止のため、非常通報装置を順次設置(西) ・看護職員等の制服変更による職員の士気向上 ・警察OB24時間配置の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員満足度調査は、本当に心から満足と思っているのか、現状で妥協しているのか把握できないので、自由記載欄のコメントを重点的に見ることにより、職員にとってより良くなるが見えれば良いと思う。 ・職員満足度調査では、満足していない25~30%に注目すべきではないか。職員が共通認識として変えないといけないと思っているが、改善できていないところが事故につながる可能性がある。全体として評価が高くても、個別に見たときにどうかという視点も必要である。
合計		7			6	1			
[6項目 ウエイト2(4項目)ウエイト1(2項目)]		7			7				

評価 A(順調)

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

項目	頁	ウエイト (1 or 2)	1	2	3	4	5	自己評価のポイント	評価委員会の判断理由・意見
			年度計画を大幅に下回っている	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を順調に実施	年度計画を上回って実施	年度計画を大幅に上回って実施		
1 安定的な経営基盤の維持									
(1) 安定的な経常収支及び資金収支の維持	77	2			◎			(両病院) ・各診療科の収益概要等を院長ヒアリングにて説明、各診療科における経営改善に向けた意識付け ・収支均衡の維持(経営収支黒字) (中央) ・「経営改善方針」の決定・院内での取り組み (西) ・診療報酬改定に伴うプロジェクトチームの立上げ・検討の実施	・中長期的にみて、職員給与が上がっていくことを想定しながら体制を考えていかなければならない。人員を増やしても、それに見合うだけの収入を得られていけば問題ないが、経常的なキャッシュアウトフローを伴う固定費(人件費)の伸びに対して収入の伸びが限界に達しつつある点は注意を要する。 特に、中央市民病院は、高単価と高病床利用率を前提として利益が出る財務構造となっているため、超急性期病院としての需要に対してどのレベルでバランスをとるか経常収支の安定性を確保するうえで重要な課題である。
(2) 収入の確保	80	2			◎			(両病院) ・DPCを踏まえた病床運用、在院日数の短縮への取り組み、病床一元管理の継続 ・未収金発生防止に向けた取り組み、継続的な督促の実施、弁護士法人への債権回収委任等 (中央) ・平均在院日数の短縮 ・寄付金の積極的な受入れ (西) ・未収金額の減少 ・病棟薬剤業務実施加算・地域医療支援病院入院診療加算の算定を継続	・ベッドコントローラーが適切に管理していることがわかる。
(3) 費用の合理化及び業務の効率化	85	2			◎			(両病院) ・診療材料の価格交渉の継続 ・改定を踏まえ、さらに強化した薬価交渉の実施 ・後発医薬品の導入促進 ・外部委員出席会議のIT化(テレビ会議)導入の検討 ・契約入札制度の見直し (中央) ・期限切れ切迫在庫品の削減に向けた取り組み ・古紙回収率の向上、ペットボトルリサイクル等、身近な経費削減の取り組み ・経営改善に繋がる取り組みについて検討・実施を行う経営改善ワークショップの開催 (西) ・診療材料等の在庫管理方法の見直し等	主に下記のポイントから、年度計画を上回って実施したと判断した。 (両病院) ・固定費や在庫の削減を行うとともに、これまで実施が困難であった薬価交渉の徹底などにより、費用の削減及び経営の効率化・平準化を図ったこと。 ・安全性を評価した上で、後発医薬品の導入をさらに促進したこと ・経営的には、現在よりも労働生産性を高める必要があり、導入した医療機器についても、稼働率を高め、効率的な運営をしていかないといけないと思う。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

項目	頁	ウエイト (1 or 2)	1	2	3	4	5	自己評価のポイント	評価委員会の判断理由・意見
			年度計画を大幅に下回っている	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を順調に実施	年度計画を上回って実施	年度計画を大幅に上回って実施		
2 質の高い経営ができる病院づくり									
(1) 質の高い経営体制の維持	89	2			◎			<ul style="list-style-type: none"> 理事会・常任理事会の定期開催，理事長ヒアリングの実施，院長ヒアリングの継続 マネジメントシートによる年度計画のマネジメント 常任理事会及び理事会への結果報告 業務経営改善委員会の継続開催 	<ul style="list-style-type: none"> 財務比率を見ると，リスクが高まっていると感じる。調子がいい今のうちに将来について検討する必要がある。 医療機器の購入など設備面の充実に対して，スタッフの労働に対するインセンティブを高める仕組みづくりの面は遅れているように思う。
(2) 計画的な投資の実施	91	1			○			<ul style="list-style-type: none"> 新港島寮の新築移転 予算事項の執行確認 増築を含む投資判断過程の検証 	
(3) 環境にやさしい病院づくり	93	1			○			(中央) <ul style="list-style-type: none"> 廊下等の間引き点灯，空調設定温度の調整，コージェネレーションシステムによる電力節減等の継続 (西) <ul style="list-style-type: none"> ESCO事業の導入に向けた検討を開始 	
合計		10			8	2			
[6項目 ウエイト2(4項目)ウエイト1(2項目)]		10			10				

評価 A(順調)

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

項目	頁	ウエイト (1 or 2)	1	2	3	4	5	自己評価のポイント	評価委員会の判断理由・意見
			年度計画を大幅に下回っている	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を順調に実施	年度計画を上回って実施	年度計画を大幅に上回って実施		
1 中央市民病院におけるPFI事業の円滑な推進									
	95	1			○			(中央) ・PFI業務に関するモニタリングの実施, 業務実施状況の確認, 業務改善 ・費用削減率3%達成に向けたPFI業務の見直し	
2 市関連病院との連携									
	96	2			◎			(機構) ・医療機能に応じた紹介・逆紹介の推進 ・市関連病院連絡調整会議を開催し, さらなる連携推進に向けた検討の継続, 人事交流の推進 (両病院) ・両病院間での円滑な患者転送についての新たな運用の開始	
3 神戸医療産業都市における役割									
	99	1			○			(中央) ・先端医療センター等との連携推進(患者の紹介・逆紹介, 会議の継続開催, 高度医療機器の共同利用及び共同研究の継続) ・メディカルクラスター連携推進委員会等の開催	
合計		4			4				
[2項目 ウエイト2(0項目)ウエイト1(2項目)]		4			4				

評価 A(順調)

総合計	全項目に占めるウエイト2の割合 57.1%
[28項目 ウエイト2(16項目)ウエイト1(12項目)]	全項目に占めるウエイト1の割合 42.9%